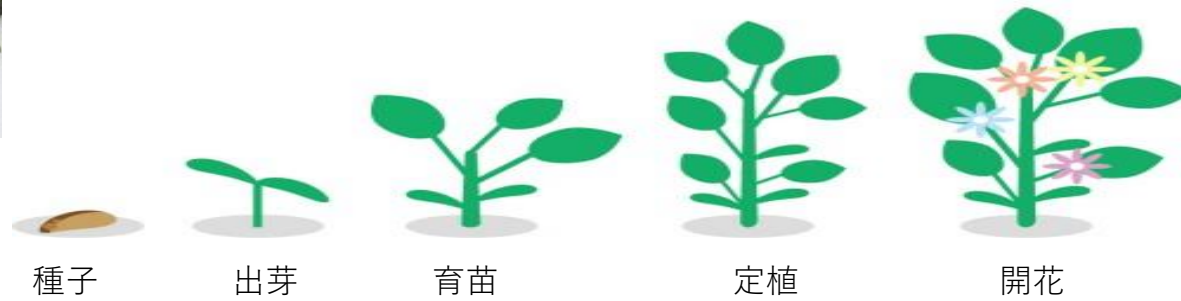


# 薬用植物の種苗生産方法の確立



セネガ種子の冷蔵庫保存法による出芽



ヒロハセネガ  
オタネニンジン  
カンゾウ



カンゾウの挿し芽による発根

植物名	ヒロハセネガ	オタネニンジン	ウラルカンゾウ
定量項目	希エタノールエキス量	ジンセノシドRg1,Rb1	グリチルリチン
用途	龍角散等	滋養強壮剤	芍薬甘草湯等
研究対象とした理由	出芽率が低く、栽培効率は良くない。	食用としても利用価値が高い。成苗率が低い。	花が咲かないので種が取れない。
研究成果	水と市販冷蔵庫で貯蔵することにより、直播き(10%)、土中保存(40%)と比較して発芽率が80%になり、定植後の生存率が70%を超えることとなった。 生薬としての基準をクリア	被覆資材と、被覆高さを考慮することにより、苗の生存率が高くなった。2年生以降の収穫物では、生薬基準をクリア	挿し芽を行うことにより、成苗率58%以上で苗を作成することが可能となり、種子播種(30%)よりも高効率で苗を生産できることが可能となった。生薬基準をクリアできず。